



麓小学校便り

ふもとっ子



やさしく 思いやりがあり、素直な子
かしこく 話をよく聞き、考えがもてる子
たくましく 体を鍛え、粘り強い子

第4号

令和8年6月12日
文責 校長 松尾 天

5年生 宿泊学習から学んだこと

5月20日(水)～21日(木)の日程で、福岡市立背振少年自然の家において5年生の宿泊学習を行いました。館内ビンゴ(施設内を散策するゲーム)、追跡ハイク(大自然の中に設置してある看板等を見つけ、それをヒントに設定されたコースを正確に回る)、キャンドルの集い(雨天によるキャンプファイヤーに代わる活動)、野外調理(カレーライスづくり)に取り組みました。実際の様子は右の写真をご覧ください。

この宿泊学習の中で、子どもたちの活動の様子を見ていて何度も感じたことがありました。それは、「自分たちの力で楽しむことができていること」でした。集団で活動する行事の場合、「協力して活動しているか」や「きまりを守っているか」などの面で教師がその都度指導・支援することがあります。しかし、今回はほとんどそのような場面を目にすることがありませんでした。子どもたちの中で「協力」「きまり」について十分意識しており、終始笑顔で活動している様子が見られました。特に、キャンドルの集いで踊った「マイムマイム」では、大人が入るまでもなく子どもたちだけで心から楽しむことができていました。その姿を見ていた私達は、とても温かい気持ちにさせてもらいました。



(大自然での追跡ハイク)



(盛り上がったマイムマイム)



(野外調理でのカレーづくり)

見守り隊さん感謝の会をふり返って

6月2日(火)1時間目に、全校児童による「見守り隊さん感謝の会」を行いました。日頃より児童の登下校時に校区内の様々なポイントに立ち、交通事故・事件等から守ってくださっている皆さんに、「言葉」「歌」「手紙」を贈ることを通して、感謝の気持ちを伝えました。

見守り隊の皆さんからも児童にお話をいただきました。「麓小の子どもたちが無事に学校へ通ってくれることを願っています」や、「みんなが挨拶をしてくれたり、話しかけたりしてくれるのがエネルギーになっています」などの話を聞くことで、「自分たちが大きな愛情で守られていること」、「自分たちが、地域の方々に希望を与えていること」などに気づく子どもも見られました。今後、見守り隊の皆さんにできることとして、「心を込めて挨拶をする」と、考えている子たちもいるようです。その感謝の気持ちを大事にさせていきたいと考えます。



(見守り隊の皆さんのお話)



(感謝を伝えるお手紙渡し)

6年生「琴の授業」をふり返って

6月3日(水)に外部講師(韓国の方々約20名)をお招きし、6年生児童を対象とした音楽科「琴の授業」を行いました。右の写真のように民族衣装に身を包んだ皆さんの演奏や舞踏ということもあり、子どもたちの視線は釘付けでした。

また、演奏中の子どもたちの態度・反応(静かに聴く、盛り上がって聴くことの違いができる)がとても素晴らしく、中には、子どもたちの姿を見ながら涙を流された方(講師)もいらっしゃいました。大人を感動させる振舞いをする事ができる子どもたちは、麓小学校の誇りだと、あらためて実感しました。



(素敵に民族衣装の演者)



(素晴らしい音色の琴の演奏)

7月の主な行事予定

2日(木)フッ化物洗口
スクールカウンセラー来校(午前)
7日(火)クラブ活動
9日(水)フッ化物洗口
13日(月)スクーカウンセラー来校(午後)
スクールソーシャルワーカー来校(終日)

14日(火)とりこさん号(移動図書)来校
16日(木)フッ化物洗口、1学期給食最終日
17日(金)終業式(11:30下校)
21日(火)夏季休業開始